

大田っ子だより R7. 1. 29 文責 校長

～アフリカの方々と交流～

今年の4月から10月までの約6か月間、大阪で万国博覧会が開催されます。この博覧会に参加する国・地域と交流を促す内閣府の「万国国際交流プログラム」に本市が登録され、アフリカのジンバブエとブルンジ両国のホストタウンになりました。そこで、1月24日（金）、両国を中心としたアフリカの国の関係者・随行者約15名の方が、子どもたちと交流するため来校してくださいました。

この日、①4～6年生との授業交流 ②開会行事 ③アフリカでネリカ米の普及に尽力した坪井達史氏の講演 ④歌と踊りの交流 ⑤閉会行事 ⑥4～6年生との給食 という盛りだくさんのメニューとなります。

①の授業交流では、はじめに6年生が、日本の魅力“アニメ”“和菓子”“浮世絵”“温泉”“特撮”の5つを、一人ずつ英語で紹介しました。事前に自分たちが伝えたいことを、翻訳アプリを使いながら英語にし、スピーチする練習を重ねてきたそうです。本番3日前にもALTの先生に自分たちのスピーチを聞いてもらい、発音の仕方も指導していただきました。本番では、子どもたちは、落ち着いた様子でスピーチしています。お客様も、真剣な眼差しを子どもに向け、時にはうなずきながら聴いてくれています。スピーチ後は、一人一人にたくさんの拍手をいただきました。後で話を聞くと、「緊張で足が震えた」とお話ししてくれた子もいましたが、どの子も堂々とした発表で、学びを活かす実践の場と同時に、貴重な機会となりました。

スピーチの後、4～6年生とお客様とで、日本の文化「毛筆」の体験です。「道」「愛」「龍」「祭」等の数種類の手本の中から、書きたい漢字を選び、大筆で書いていきます。そんな中、お客様に伝えたいことを身振りを使って伝えようとする子や、自分の知っている単語を使って伝えようとする子、お客様と日本語で会話をしている子と、お客様とのさまざまな交流の姿を目にすることができました。



歌と踊りの交流では、1～3年生も参加しました。はじめにお客様が、アフリカの歌を素敵な歌声で聴かせてくださいました。2曲目では、「一緒に歌おう！」と子どもたちを誘ってください、子どもたちはコーラスに参加することになりました。2つのパートに分かれ、それぞれお客様と練習です。子どもたちはちょっぴり恥ずかしそうでしたが、だんだんと声が大きくなっていきます。いよいよみんなで声を合わせます。明るい曲に合わせ、「アーイアーイ・・・」と歌を重ねます。みんなの声と心が一つになり、とてもすてきなハーモニーが響き渡りました。

引き続き、アフリカの踊りにみんなでチャレンジ。お客様の踊る踊りを真似しながら、みんなで一緒に踊ります。最後は大

きな一つの輪になって踊り、興奮の渦に包まれました。

日頃できない貴重な経験が詰まった充実した1日となりました。



山香在住の坪井達史氏は、JICAの稲作上級技術アドバイザーとして、長年食糧難のアフリカでネリカ米の普及に尽力されてきました。“世界で尊敬する日本人100人”にも選ばれた方です。この日は、アフリカで自身の取組についてお話くださいました。最後に、「英語ができるようになると、世界が広がっていろんなことが知れるようになります」との、子どもたちへの応援メッセージもいただきました。

～1年生8の字跳びに挑戦！～

2月中旬に縄跳び大会を計画しており、子どもたちは例年のように、短縄と長縄（8の字跳び）に挑戦します。8の字跳びは、1年生のにとって初めての挑戦となるようです。

先週火曜日の昼休み、1年生の子どもたちが体育館で8の字跳びにチャレンジしています。担任と養護教諭が大きく回す縄の中に、1年生が飛び込んでいます。8の字跳びは、回す縄に飛び込むタイミングをつかむまでが難しく、上級生でも戸惑ってしまふことがあります。しかし、1年生の子どもたちは、自分でタイミングをつかんで入り、ぴょんと跳んでから上手に縄から抜け出ています。あまりのうまさに、担任にいつから練習を始めたのか尋ねると、2学期後半から体育の時間を使って、少しずつ練習に取り組んでいたとのこと。前の人が跳ぶ縄が地面についたときに、次の人が入り始めることを子どもたちに意識させたのだそうです。これまでの地道な練習が花開いています。



この日、時に引っ掛かり、また縄から抜け出る方向を間違えてしまったりすることもあります。しかし、そんな失敗もみんな笑顔で受け止め、再び練習に励みます。

8の字のように繰り返し跳ぶ中で、間をあげず連続跳びをする子が見受けられるようになりました。その姿を見て、子どもたちは引っかけらずに跳ぶことだけでなく、間をあげない連続跳びを意識した方向へと変わっていきました。連続跳びは、前の人と間をあげないため、入るタイミングを一定にする難しさがあります。

本番までまだ1か月あります。今後の進化も大いに期待しているところです。